

Table with columns for 事務事業名, コード, 環境にやさしい農業推進事業, 課 (農水産課), 所属班 (振興班), 電話番号 (68-1175), 内線 (242), 基本方針 (5), 施策 (1), 施策の展開 (2), 基本事業 (265), 予算科目 (会計, 一般会計), 根拠法令 (特になし).

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間, ② 事業の内容. Includes details on 単年度繰返 (checked), 期間限定複数年度 (unchecked), and 事業内容 (水稲共同防除事業補助金).

(2) トータルコスト

Table with 2 columns: ① 事業費の内訳 (24年度の実績), ② 延べ業務時間の内訳 (24年度の実績). Includes unit information (千円, 時間).

Table with 5 columns: 費目内訳, 22年度(決算), 23年度(決算), 24年度(決算), 25年度(計画). Includes rows for 事業費 (1. 負担金補助及び交付金) and 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table with 4 columns: 手段, 目的, 上位目的, 指標. Includes ① 主な活動, ② 対象(誰、何を対象にしているのか), ③ 意図(対象がどのような状態になるのか), ④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか, ⑤ 活動指標名, ⑥ 対象指標名, ⑦ 成果指標名(考え方), ⑧ 上位成果指標名(考え方).

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 開始したきっかけは何か? どんな経緯で始まったか?, ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?, ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

事務事業名	環境にやさしい農業推進事業 水稲共同防除事業補助金	課名	農水産課	班名	振興班
-------	------------------------------	----	------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↘ この事務事業の目的は市の政策体系に結びつか？意図することが上位目的に結びついているか？ 良質米の安定的な生産には植物病害防除は不可欠である。本市農業の特色である大規模農地での大量生産形態においてはヘリコプターによる共同一斉防除が効率性・省力性からみて有効である。
	② 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↘ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市内で無人ヘリ防除を行っている団体は15あるが、補助金の交付を受けているのは毎年同じ3団体である。(補助金額と交付申請の手間との兼ね合いから、比較的面積規模の大きい団体が申請してきていると考えられる)公平性の観点から、各団体に対して補助金の申請意向が無いかどうか、改めて確認すべきか検討の余地がある。
	③ 行政関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 農業生産振興の一環として、効率的かつ効果的な水稲共同防除事業への補助は重要であると考えられる。ただし、一部の団体にのみ市職員が防除当日に立ち会っている等、現状の関与のあり方については見直すべき余地がある。
	④ 成果の現状水準	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 受益農家からの声にもあるとおり、病害の発生は相当程度抑えられていると考えられる。
	有効性 評価	⑤ 成果の向上余地
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性		<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(植物防疫協会補助金) (2) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↘ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↘ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↘ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↘ 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1) 具体的にはどのような事務事業か？ (2) 類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 空中農薬散布による一斉防除を行う団体への補助。補助金交付事務のほか、当日の立会いや周知広報等類似する業務が多く、統合は可能と考えられる。補助金額算定(無人ヘリ防除の事業費を面積割で補助する当補助金に対し、上記補助金は有人ヘリ防除を行う団体の運営費の定額補助)等の相違はある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↘
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) 各防除団体とも財政的な余裕は少なく、それぞれ散布料金(受益農家からの徴収金額)を値上げしてなんとか対応しているという状況である。補助金額の縮減は、補助金交付団体からの理解を得るのが難しいと思われる。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 防除実施団体の組織・運営方式の見直しによって、市職員の関係業務の従事時間を削減できる可能性がある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 合併前の旧市町の対応をほぼ引き継いでおり、補助金の交付状況や市の協力体制について各団体間で差異がある。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	水稲農家の費用負担軽減、危被害防止に資する補助金の交付は農業振興を図る上で重要。受益機会均等化のため、制度の周知を図る必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業:植物防疫協会補助金) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																						
① 市内の水稲農家団体に対して制度の周知を図る(H25) ② 有人ヘリ・無人ヘリ団体それぞれに対する補助を植物防除補助金として統合(H26予算～) ③ 市職員の散布当日従事等、行政関与のあり方を見直し(H25) ④ 補助金交付要領の整備(H26)																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
① 特になし ② 特になし ③ 関係団体の理解が必要 ④ 要領の内容についての検討が必要																						